

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第565号（平成27年2月3日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

★シンポジウム「大規模災害の発生に備えた災害廃棄物対策への取組」の開催及び
災害廃棄物処理施設の現地見学会について【環境省】

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 中国・九州ブロック交流会開催のお知らせ
2. 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー開催のお知らせ

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 川崎市港湾局、リニア建設発生土の搬出で関連調査
2. 山形県、酒田港港湾計画の一部変更計画案を了承
3. 北九州港響灘東地区処分場、新年度に埋立免許申請手続きへ

=====

《今週の報道発表》

★シンポジウム「大規模災害の発生に備えた災害廃棄物対策への取組」の開催及び
災害廃棄物処理施設の現地見学会について

詳細については、下記にてご確認ください

<http://www.env.go.jp/press/100313.html>

【環境省 平成27年2月2日】

=====

1. 中国・九州ブロック交流会開催のお知らせ

下記の通り平成26年度 リサイクルポート中国・九州ブロック交流会を開催します。

記

日程：2月4日（水）：14：00～講演会、17：30～交流会、

2月5日（木）：9：00～12：00 見学会

場所：講演会・交流会：門司港ホテル（福岡県北九州市）

[\(http://www.mojiko-hotel.com/\)](http://www.mojiko-hotel.com/)

見学会：次世代エネルギーパーク（北九州市エコタウンセンター内）

[\(http://www.kitaa-ecotown.com/enepa/energy/\)](http://www.kitaa-ecotown.com/enepa/energy/)

【幹事会・事務局】

2. 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー開催のお知らせ

リサイクルポート推進協議会調査・研究部会では、国際資源循環物流に関して、課題を整理し、そのシステム化を目指した検討を行うこととしています。

本ミニセミナーは、中国における資源循環ビジネスに関する最新の取組みについて講演頂き、RPPC 会員・国土交通省港湾局等を含めた意見交換を行うことにより、リサイクルポートを活用した国際資源循環物流の円滑化に向けた検討を進めることを目的としています。

日 時：平成27年2月20日（金）16：00～19：00

講 師：元 東達集団／大連国家生態工業モデル園有限公司

 総裁弁公室 副主任 小林 均 様

場 所：一般財団法人 みなと総合研究財団（WAVE） 会議室

※参加募集人員は **40名**（定員になり次第締め切らせていただきます。）

詳細については、添付のご案内状にてご確認ください。

【調査・研究部会 事務局】

1. 川崎市港湾局、リニア建設発生土の搬出で関連調査

川崎市港湾局はJR東海からリニア中央新幹線の建設に伴う発生土の搬出に関する調査依頼があったため、26～27年度に調査を行う。

同リニア建設事業において川崎市内で発生する土砂量は約407万立方m。環境影響評価では川崎市宮前区梶ヶ谷に計画している非常口から搬出する発生土は、鉄道貨物線を利用し臨海部へ運搬することで、大気質、地域交通等への影響を低減するとしている。今回の市の調査は、鉄道から海上輸送への円滑な積み替え方法や物流への影響を把握するのが目的。どの場所で船に積み替えるかは明らかにしていないが、川崎港では浮島、千鳥、扇町、大川に貨物線が入っている。

【港湾空港タイムス】

2. 山形県、酒田港港湾計画の一部変更計画案を了承

山形県はこのほど山形県地方港湾審議会を開催し、酒田港港湾計画の一部変更計画案を了承した。3月開催予定の交通政策審議会港湾分科会に上程して成案を得る予定。酒田港北港地区で進めている浚渫土砂の埋立処分のための海面処分用地の埋立竣工が間近のため、

県では処分場用地の一部を工業用地（37ha）に設定して臨海部への企業誘致を進める。既往計画では専用岸壁と一体になった工業用地を位置付けていたが、経済社会情勢の変化から需要が見込めないことから専用岸壁計画を削除、土地利用のみを要望する企業に対応することにした。

【港湾空港タイムス】

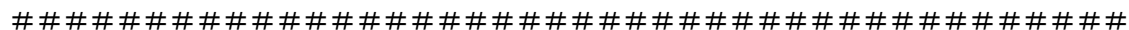


3. 北九州港響灘東地区処分場、新年度に埋立免許申請手続きへ

北九州市が進めている北九州港響灘東地区処分場 38ha の整備について、市では年度内にアセス手続きを終え、新年度から公有水面埋立免許申請への準備を進める。申請にあたって国との協議を進める他、関係機関とも調整して行く。予定としては 27 年度半ばごろに申請し、同年度末ごろに免許を得、28 年度から外周護岸等現地工事着手をイメージしている。同処分場は現在利用している響灘西地区処分場が概ね平成 30 年代半ばごろに満杯になることから、その後の受け皿として機能させる。外周護岸等事業費は当初試算で約 192 億円。

同処分場は受入容量として、一般・産業廃棄物など約 300 万立方m、港湾整備等で発生する浚渫土砂約 210 万立方mを計画している。

【港湾空港タイムス】



発行者：RPPC 広報部会

- 部長：徳田 英司 新日鐵住金（株）
- 部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）
- 堀江 良彰 東京都
- 加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター
- 紫牟田 和隆 光和精鉱（株）
- 新谷 聡 りんかい日産建設（株）

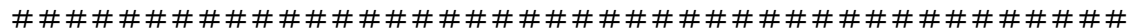
リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。



リサイクルポート推進協議会 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー

リサイクルポート推進協議会調査・研究部会では、国際資源循環物流に関して、課題を整理し、そのシステム化を目指した検討を行うこととしています。

本ミニセミナーは、中国における資源循環ビジネスに関する最新の取組みについて講演頂き、RPPC 会員・国土交通省港湾局等を含めた意見交換を行うことにより、リサイクルポートを活用した国際資源循環物流の円滑化に向けた検討を進めることを目的としています。

◆16:00～17:00

講演「中国(大連;遼寧省)の循環経済分野のビジネス化の取組状況と中日連携への期待」

講師:元 東達集団/大連国家生態工業モデル園有限公司

総裁弁公室 副主任 小林 均 様

講師紹介:1964 年生まれ、埼玉県川越市出身。1989 年東北大学工学部土木学科卒業後、(株)エックス都市研究所入社。環境エンジニアリング部長を歴任
2011 年 3 月同社退社。
同年 4 月より中国転身。2015 年 1 月退職。
技術士(衛生工学)、早稲田環境総合研究所招聘研究員。

◆意見交換会

※参加費無料

●日 時： 平成 27 年 2 月 20 日 (金) 16:00～19:00

●場 所： 一般財団法人 みなと総合研究財団 (WAVE) 会議室

(東京都港区虎ノ門 3-1-10 第 2 虎の門電気ビルディング 3 階)

参加募集人員は 40 名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

●申し込み

参加を希望される方は以下の参加申し込み用紙にご記入の上、2 月 6 日 (金) までに、FAX 又は電子メールにてお申し込み下さい。

申込先:リサイクルポート推進協議会 事務局 担当:本野・井手・榎並

FAX:03-5408-8741 E-Mail:rppc_jimukyoku@wave.or.jp

.....
ミニセミナー 参加 • 不参加
意見交換会 参加 • 不参加 ※○を付けて下さい。

参加者のお名前：^{ふりがな} _____

ご 所 属： _____

電 話 番 号： _____ FAX： _____

E - m a i l： _____